

2015年(H27年)

3月

No. 283

ひとはつうしん

(ホームページアドレス) <http://hitoha-fukushi.com>
(メールアドレス) honbu@hitoha-fukushi.com



社会福祉法人 ひとは福社会

〒739-1203

広島県安芸高田市向原町長田1857番地
TEL (0826) 46-2960 FAX (0826) 46-7230

気がけば早いもので3月となりました。ついこの間新しい年度がスタートしたと思っていたのに、1年というのは本当に早いものです。26年度という1年は色々な事が、た一年でした。良い事で言えばひとは館2号店の開店、ひろしまS-1サミット2014での最優秀賞受賞など、逆に良くないことで言えば「安佐北・安佐南」の土砂災害で多くの尊い命が奪われた事等あげられると思います。皆さんにとってはどうな1年でしたでしょうか。

さて、ひとは福祉会では安芸高田で生活する障がいのある子どもたちの放課後の活動の場の充実を行う為、4月より放課後等デイサービス事業所「くわくわん」を吉田町に開所いたしました。現在申田町にて「ひとはぼっこ」を開所して活動しているところですが、利用ニーズの高まりや、交通アクセス等、また上記いたしました放課後の活動の場の充実等の理由から開所所に至っております。場所としてはゆめタウン吉田店さんの向かい側(旧太田不動産さん事務所)となりますので、皆さんよろしくお願ひ致します。

また、障がいのある人たちのトータルライフサポートを考えしていく中では、今後色々な取り組みを行っていく必要があると考えております。自宅活動面ではひとは作業所、ひとは工房、就労センターなど、生活面で言えば、共同ホーム(ひとは支援施設)、ひとは長屋(グループホーム)もありますが、今後の利用ニーズやひとは福祉会のある安芸高田地域の現状等を考えた際にはまだまだ十分といえない状態であり、直近の取り組みとして新たに生活の場の創設(グループホームの建設)を現在検討しているところであります。

私たちの社会が障がいのあるなしに関わらず、誰もが安心して暮らせる社会になるために、皆様のご支援をよろしくお願ひ致します。

(ひとは工房 施設長 城崎高治)

農業班 より

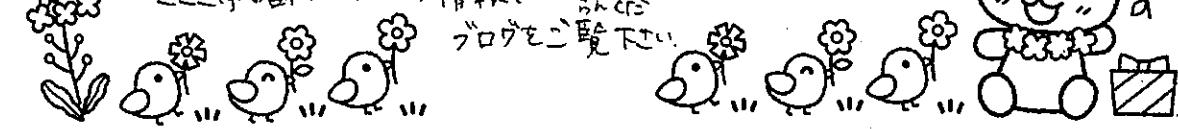
ひとは農園でインフルエンザが大流行してしまいました。普段からマスクも手洗いもいやがるSさんも、感染しました。エほど苦しい思いをされたのか、今までいくら頑張ってもマスクをしてくれなかったのに、復帰されてからは毎日マスクをつけて来てくれるようになりました。それだけでなく、笛をいたわる声かけをしてくれて、とても嬉しいSさんにになりました。

…あれから1ヶ月 「マスクなんかするか」と大声で聞こえる、いつもの農園にもどっています。



3月 行事予定

- 14(土) アロマテラピー教室、シロイハ販売(ささき亭)
- 24(火) 大切な人のため受けけるがん検診講座(ささき亭)
- 25(水) トートペイント教室(ささき亭)
- 28(土) 都合の善午後2時までの営業とさせていただきます。
土+土の詳しいイベント情報(ささき亭)



仲間の方々の生活を支えていく上で、オシャレをする事の楽しさをあらためて共感出来る瞬間でもあります。いつか僕のもやってくれないかな。
(共同ホーム 则川靖久)

ひとはの

○ 月1回のお誕生会は、各司会者の音頭で誕生者が呼ばれ、
○ ハッピーバースデイの歌とビール、ジースの乾杯で始まります。
○ 血馬走りが盛られ、心に力のバイキング方式でおかわり。
○ 続出。日中スタッフや朝パートさん達を招き、会は盛り上がり、
○ 仲間の人達はみんなニコニコ笑顔でとても楽しい夕食に満ちて。
○ した。締めはケーキです。みんなの幸せ笑顔を見て、来月は何に。
○ しようかね、と心にはもう3月です。
○ 春は毒出しの季節。苦味のある、菜花や落なども
○ 食べると良いです。

(食堂部 菊地町子)



旅立ちの春 * … * … * … * … *

6年間ひとはぼっこに通ったAさんが、この春高等部卒業を迎えることを喜んでいます。

秋になると「秋、社会人になる。ひとつはどこも卒業

「ふ」と何度となくつぶやいていました。

年が明けると「私、社会人になる。ひとはぼうこは卒業します。」と力強い口調で言うようになりました。自分に問いかけるように、そして自分自身を納得させるようになりました。　　いよいよ近づいてくる新しい世界に向かって、どうしようもない不安な気持ちを、どうにか自分の力だけで折り合いをつけているとしているAさんに、大きな成長を感じました。

新しい世界でも、自分らしく楽しく過ごしてほしいと思います。 (ひとはほうこ 高松悦子)

先日、来店されたお客様が「勤いでいるきらら(仲間)に「潤子ちゃん?」と声をかけてくださいました。よく話を聞くと、潤子ちゃんが5歳の時に通っていた戸所の先生であるひとは、館で勤いているSさんのことでも知られておられ、ささき亭までSさんに来てもらい音信に花が咲いていました。そのことを潤子さんのお母さんに伝えると、その先生と以前は会われていなかったのですが、ここ最近は音信不通になつてのことでした。なんとか連絡する方法はないかと、ささき亭スタッフが縁のある方々に問い合わせた所、おおかたの住所を知ることができ、お母さんが葉書を出されたそうです。すると連絡があり、今度皆で会うことになりましたと嬉しい知らせを頂きました。潤子ちゃんがささき亭で働いていたからこそ巡り合えたご縁だと喜びます。